

労福協 NEWS

<http://www.tokushima-rofuku.net/>

2020.4 No.98



中央労福協第64回定期総会を開催

— 労福協の理念、2030年ビジョン等の決定 —

中央労福協は、1949年に結成以来、2019年8月で70周年を迎えました。この70年の節目にあたり、11月29日に第64回定期総会を開催し、「労福協の理念」と今後の活動の指針となる「2030年ビジョン」を決定し、次の10年の活動へ一歩を踏み出しました。

主催者を代表して挨拶した中央労福協の神津会長は「連帯・協同・助け合い・支え合いを社会に根づかせていくため、みんなでつくりあげてきた理念とビジョンを日々の実践の糧として、次の

10年への一歩を踏み出そう」と呼びかけました。

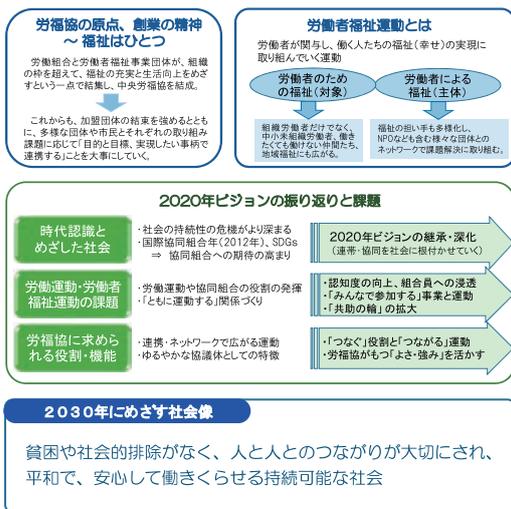
前日には、結成70周年記念レセプションが開催され「福祉はひとつ」という創業の精神のもと労働者福祉運動を推進してきた、これまでの活動を振り返るとともに、今後の活動の充実へ決意を改めました。

なお、役員改選では、神津会長（再任）、南部美智代事務局長（新任）らの新役員を選任し、退任した花井圭子前事務局長は参与に就任しました。

労福協の理念

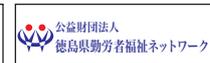
すべての働く人の幸せと豊かさをめざして、
連帯・協同で安心・共生の福祉社会をつくりま

「労福協の理念」「2030年ビジョン」のフレームワーク



- 2030年ビジョン**
- 多様なセーフティネットで、働くことやくらしの安心を支えます。
 - 労働組合と協同組合が連携・協同し、共助の輪を広げ、すべての人のくらしを生涯にわたってサポートします。
 - 地域の様々なネットワークで、支え合い、助け合う地域共生社会をつくりまします。
 - 労働者福祉運動を継承・持続するために、人材を育成し、財政基盤を確立します。

「労福協 NEWS」は、連合、労金、こくみん共済 coop、勤労者福祉ネットワーク、労館、労福協の6団体による「共同デスク編集委員会」を持ち発行しています。



労働協

とくしま地域若者サポートステーション

2020年4月より「サポステ・プラス（※49歳迄支援）」が始まります！

とくしま地域若者サポートステーション（以下、サポステ）は、2006年の事業開始からこれまで、15歳から39歳迄の若年無業者等の職業的自立を数多く支援してきましたが、この度、国が掲げる「就職氷河期世代支援プログラム」に併せ、2020年4月より支援対象を49歳迄に拡大し、バブル崩壊やリーマンショックを経て長期無業状態や不安定就労を繰り返し、長期に渡るキャリア形成ができなかった就職氷河期世代に対する支援が行えることとなりました。

この就職氷河期世代（以下、40歳代無業者）に対する支援は、サポステにおける支援対象年齢を49歳迄に拡大するだけでなく、相談員による支援機関等へのアウトリーチ（事業所訪問や出張相談等）を行い、支援を求める40歳代無業者への積極的な情報提供等を行うものになります。また、複合的かつ多様な困難を抱えているといわれる40歳代無業者への支援は、サポステだけでなく、専門性の高い様々な支援機関との連携による支援が欠かせないことから、これまでに築いてきたとくしま・あわ両サポステにおける支援ネットワークである「すだち（巣立ち）支援ネットワーク」を基盤に、支援を求める40歳代無業者の居所になる地域の支援機関や事業所とのさらなるネットワークづくりに努める予定です。

2020年3月現在、サポステの就職等実績はとくしま・あわ両サポステともに国が求める実績（就職等率60%以上）を大きく上回っています。（同約80%）この実績やこれまでに蓄積してきた経験を活かし、事業の拡大となる2020年は更なる飛躍の年とらえ、支援を求める若年無業者等と40歳代無業者の職業的自立を目的に、より一層相談者に寄り添ったきめ細やかな支援を展開したいと考えています。



とくしま地域若者サポートステーション

〒770-0831

徳島市寺島本町西1丁目7-1 徳島駅前171ビル1階

TEL. 088-602-0553 FAX. 088-625-3530

Web <http://www.toku-sapo.com/>

・相談日 月～金：10時～18時／土：10時～17時

・休館日 日曜、祝日、年末年始、夏期休暇

【地図】



あわ地域若者サポートステーション

〒771-1402

阿波市吉野町西条字大内18-1 吉野中央公民館2階

TEL. 088-637-7553 FAX. 088-696-2510

Web <http://www.toku-sapo.com/awa-saposute/>

・相談日 月～金：10時～18時／第3土：10時～17時

・休館日 日曜、祝日、年末年始、夏期休暇、
第3以外の土曜日

【地図】



連 合**【新型コロナウイルスに関する集中労働相談Q & A】**

(2020年3月11日現在)

連合本部は、新型コロナウイルスに関する労働相談が増加していることを受け、2020年3月4日～5日（電話相談）3月6日（LINE）緊急集中労働相談を実施しました。その間、電話相談が191件、LINEでの相談（新型コロナウイルス以外の相談含む）が42件寄せられました。

連合は、働く者、生活者の健康と安全の確保、安心して働ける環境の確保に向けた取り組みを行っており、感染拡大防止をはじめとする対策の充実を政府に要請しております。

【相談例】

Q1. 新型コロナウイルスの感染防止のため、仕事を休むことにした場合の賃金は？

A1. 労働者自らの申し出により休暇を取得する場合は、年次有給休暇や就業規則などの規定に特別休暇などがあれば取得して賃金が支給される休暇制度の活用を。

Q2. 新型コロナウイルスの影響で、会社が休業や勤務時間短縮の場合の賃金は？

A2. 使用者の都合による場合は、使用者は休業手当の支払が必要。

Q3. 新型コロナウイルスの影響で、小学校などが臨時休業になったことに伴い、仕事を休まざるを得なくなった場合の賃金は？

A3. 新型コロナウイルスの感染症による小学校休業等対応助成金の活用により、賃金の補償を。

Q4. 現場でマスクをつけさせてもらえない。接客業だからやむを得ないのか？

A4. 使用者は労働者に対する安全配慮義務がある。

Q5. 学校現場で任用されている非常勤講師として働いている。今回の臨時休業に伴い報酬は支払われないのか？

A5. 総務省の通知をうけ文部科学省より各都道府県教育委員会に適切な対応を求めることの通知が出されている。これにもとづいた対応を求めていく。

Q6. 新型コロナウイルスの感染拡大で収入が激減となる個人事業主に対する政府からの支援策はないのか？

A6. 各種支援策があるので、内容を確認のうえ活用の検討を。

連合では引き続き新型コロナウイルスに関する労働相談をはじめ、色々な労働相談を下記ダイヤルで受け付けております。お気軽にお電話ください。

日本労働組合総連合会徳島県連合会（連合徳島）
労働相談ダイヤル：0120-154-052

ろうきん

四国労働金庫『ピンクリボン運動』

四国労働金庫は社会貢献活動の一環として、「女性が健康で長く働くことができる社会づくり」に貢献するために、乳がんの早期発見・早期診断・早期治療の大切さを伝える「ピンクリボン運動」への支援に取り組んでいます。

具体的には、四国ろうきんのATMにおいて、ろうきんカード（マイプラン含む）および他行カードでの支払い1回につき1円を四国ろうきんが負担し、「ピンクリボン運動」を実施している四国地区の公益財団法人日本対がん協会のグループ組織に寄付するもので、2019年度の取組期間（2019年2月～2020年1月）における寄付金額は846,516円となりました。

なお、2020年度も引き続き取り組めます。

□寄付金額について

寄付金額 合計 846,516円
(2012年度からの累計金額 8,006,606円)



地区	寄付金額	寄付先	所在地
徳島	153,600円	公益財団法人 とくしま未来健康づくり機構	徳島市 蔵本町
香川	180,454円	ピンクリボン かがわ県協議会	高松市 郷東町
愛媛	220,943円	ピンクリボン えひめ協議会	松山市 味酒町
高知	291,519円	公益財団法人 高知県総合保健協会	高知市 椋橋通

こくみん共済 coop

こくみん共済 NEWS
coop

こどもの成長応援プロジェクト なわとび・長なわ「贈呈式」



贈呈式の様子

2020年2月13日、こくみん共済 coop 徳島推進本部2F会議室にて「こどもの成長応援プロジェクト」に関するなわとび・長なわ呈式を実施いたしました。

子どもたちの成長を見守る「こどもの成長応援プロジェクト」では、応援1件につき1本のなわとび・長なわを全国に寄贈する取り組みです。昨年6月からこくみん共済などの制度改定にともない「こどもの成長応援プロジェクト」としてのキャンペーンを実施し、子どもの体力低下という社会課題の解消に寄与するため、なわとび・長なわの寄贈させていただくこととなりました。

こくみん共済 coop 〈全労済〉徳島推進本部、全労済自治労共済徳島県支部では、徳島県労働者福祉協議会と連携した結果、なわとび865本、長なわ75本の合計940本を、徳島市教育委員会に寄贈しております。

プロジェクトに参加いただきありがとうございます。ありがとうございました。

こくみん共済 coop では 自賠責共済を取り扱っています！

自動車損害賠償責任共済

ご加入希望の方は
ご相談ください

ご契約車両を運転中に、他人にけがをさせたり、死亡させたりした場合の対人賠償事故を補償します。

自賠責共済とは？

自動車損害賠償保障法によって道路を走るすべての自動車(二輪車を含む)、原付自転車に加入が義務づけられている共済(保険)です。

死亡	最高 3,000万円
けが	最高 120万円
後遺障がい	程度に応じて 4,000万円～75万円



もし、自賠責共済(保険)に加入していないと？

未加入で運行した場合、法律により罰せられます。



6カ月の範囲内の **免許停止** (違反点数 6点)

1年以下の **懲役** または **50万円以下の罰金**

原付・バイクをお持ちの方は特に注意！

車検制度のない原付・250cc以下のバイクは自賠責共済(保険)の有効期限切れに特に注意が必要です。いま一度、有効期限のご確認を！



マイカー共済とあわせてのご加入をおすすめします。

●ここに記載されている内容は、共済商品の概要を説明したものです。

勤労者福祉ネットワーク

◆あわ～ず徳島第8回会員事業所・自治体交流会の開催

1月19日(日)、JRホテルクレメント徳島にて、「あわ～ず徳島会員事業所・自治体交流会 全県に届けよう あわ～ず徳島の輪！」を開催しました。徳島県後藤田博副知事、遠藤彰良徳島市長をはじめとする自治体関係者、財団関係者、功労事業所代表者、功労者、会員総勢172名の参加のもと、第1部では、功労のあった事業所並びに個人の表彰を行い、特別報告として、元文理大の中村昌宏先生を招き、「優良企業を目指す条件」と題した特別講演をいただきました。

第2部の交流懇親会では、地元タレント「ゆりり」によるライブステージ、会員事業所PRスピーチ、毎回恒例の大抽選会など、盛りだくさんな催しで、参加企業・団体同士の交流も盛んに行われ、広域化、自立化をめざす「あわ～ず徳島」にとって、大きな節目となる交流会となりました。

サブタイトルの「全県に届けよう、あわ～ず徳島の輪！」は、私たち財団のめざす「いつでも、どこでも、だれでも」が受けることのできる勤労者福祉サービスを体現するためのタイトルです。この「あわ～ず徳島」が、10年後には、徳島県全域において感謝され、一目置かれる存在となるよう、会員20,000人達成の早期実現に向け努力を重ねます。



「あわ～ず徳島会員事業所・自治体交流会」主催者挨拶



「あわ～ず徳島会員事業所・自治体交流会」ライブステージ

◆ファミサポ20th Anniversaryセレモニーの開催

1月25日(土)ファミサポが徳島に生まれて20年を記念し、「ファミサポ20th Anniversaryセレモニー」を開催しました。

飯泉嘉門徳島県知事(全国知事会長)、遠藤彰良徳島市長をはじめ関係各市町村の首長、担当者、ファミサポの歴代役員、歴代地域リーダーや会員講習会の講師先生など、多数の方々にお集まりいただき盛大に開催することができました。

オープニングでは「エベレスト・ザ」のご協力のもと20年を振り返る動画を上映。懐かしい映像と共にそれぞれが過ごした時間を振り返りました。

そして、1999年の立ち上げ当初からこれまでご尽力いただいた5名に感謝状を贈り、感謝の気持ちを伝えました。

祝宴では、懐かしい再会に手を取り合って喜ぶ姿があちこちで見られました。最後にはファミサポスタッフ全員で、手話を交えた「にじ」を披露し、手づくりの心のこもった素敵なセレモニーとなりました。



ファミサポ20th Anniversaryセレモニー

←ぽん丸。2020

特集

勝浦・上勝
佐那河内・神山



ますます充実！あんしん情報！

- 1 子どものホームケアの基礎
 
- 2 必ずやってくる南海トラフ地震に備えよう
 
- 3 運転免許の返納支援
 

地域ライフサポートセンターの活動

徳島中央ライフサポートセンター

障がい者のための運転免許取得特別講座 (徳島講座)

2019年6月21日(金)から始まり30回にわたる講座は1月31日(金)に最終講座を迎え修了式を行いました。「受講生9名は、仲良く明るく熱心に勉強してくれました」と木邨先生からの言葉もありました。昨年度の受講生が念願の免許取得が叶い「みんなも苦しい時があると思うけど負けずに頑張ればきっと取れます」と素晴らしい挨拶をしました。また、川越会長から「みなさん諦めずに今日までよく頑張ってきましたね。あと少し頑張れば免許をとれば世界が広がります。頑張ってください」と激励の挨拶をし記念撮影し閉講しました。



連合徳島・3地協合同防災植樹

- *とき 2020年3月7日(土) 10:00～
- *ところ 海陽町大里海岸
- *主催 連合徳島3地協
- *後援 徳島中央ライフサポートセンター
- *目的 昨年の台風豪雨で潮が入り、多くのマツが枯れています。昨年植樹したマツは元気ですが、一昨年植樹したマツはほぼ全滅でした。いつ発生するかわからない南海トラフ地震や津波、そして昨今被害が大きくなっている台風に向けて防災のための植樹を行います。
- *概要 連合徳島と3地域協議会合同、中央ライフサポートセンターの後援も得て、



海陽町の大里海岸において防災植樹を行いました。コロナウイルスで開催が危ぶまれましたが、防災研修会は中止とし、植樹のみ行いました。

現地大里部落のみなさんを含め約60人が参加しました。昨年の台風で多くのマツが枯れていま



した。当日は、天候にも恵まれ、コロナウイルスの関係で学校が休み子どもたちと一緒にぎやかに、災害に強いとされるクロマツ100本を植えました。



徳島西部ライフサポートセンター

～地域貢献事業～

徳島西部ライフサポートセンターでは、地域貢献事業として、スポーツ少年団支援や着ぐるみ貸出を行っています。以下の活動を通じ、「徳島西部ライフサポートセンター」の名前を知っていただく機会も増えました。今後も支援を行い、次世代を担う子どもたちをサポートし、そして、地域との繋がりをより強いものにしていきたいと考えています。

1.スポーツ少年団支援

①第34回徳島県西部小学生バレーボール連盟春季大会(5/19) ②第14回東みよし町スポーツ少年団サッカー大会(10/5～6) ③第27回PHC杯少年サッカー大会(2/11) ④第3回阿波池田ライオンズクラブ旗争奪学童軟式野球大会(2/16～)への後援をしました。

交付した協賛金は、トロフィーやメダルに使って

くれています。



それぞれの大会では、最後まで諦めることなく好試合が繰り広げられました。この子どもたちがいつかプロ選手になって活躍するかも、と少しだけ期待を込めて、今後も支援を続けてまいります。

2. 着ぐるみ貸出

徳島西部ライフサポートセンターでは、アンパンマンとバイキンマン、トラの3つの着ぐるみの貸出を行っています。

毎年夏に実行委員会として参加している「平和の夕べ」での着ぐるみショーや小学校や公民館での運動会など、年間を通してたくさんの行事で使われています。キャラクターの登場に子どもたちが歓



声を上げて喜んでくれる姿が大変嬉しく、今後も地域の方々に使用していただきたいと思います。

徳島南部ライフサポートセンター

2019年度自動車運転免許取得講座 閉講式

2019年12月21日(土)、5月末から8ヶ月間30回に亘る、自動車運転免許取得特別講座の最終日を迎えることが出来ました。

講座に先立ち閉講式が行われ、労福協三橋専務理事から、「8ヶ月の長きに亘りご苦労様でした。本講座は労福協としても、全国的に有名な取り組みであり、他県でも実施したいとのお話を伺っています。これもひとえに皆さんの努力のおかげと感謝いたしております。本日閉講いたしますが一つの通過点であり、今後学んだことを生かし、また



忘れないうちに免許を取得していただき、合格の報告をいただけたらと思います。」と、ねぎらいと激励の挨拶がありました。

講師の寶先生からは、「今日で最後、30回目の講座を迎えました。ご苦労様でした。全く意識していなかった道路交通法という厄介な難しい勉強であったと思います。後半になるにしたがって成績も上がり、私なりに十分やってこられたと思います。車の運転は、走る・曲がる・止まるの、3つの操作、簡単で便利な楽しいものです。講座では、大切な3つのこと



認知・判断・操作について勉強しました。車の運転は、一つ間違えば他人の命を奪う、また

自分の命を失うことを忘れず、免許を返納するまで勉強したことが無駄にならないように、しっかり覚えて守って下さい。」と、免許取得に向けて温かいお言葉をいただきました。

受講生からは、「長期に亘りご指導ありがとうございました。初めのうちは、分からないことばかりでしたが、受講回数を重ねるごとに少しずつ理解できるようになりました。今日で最後の受講になります。今後は家でも勉強して早く免許が取れるように頑張ります。また、免許を取ってから安全を心掛け運転したいと思います。」と受講の感想や、お礼の言葉が述べられました。

和やかな雰囲気の中で、記念撮影を行い式典を終了し、最後の講義に臨みました。

2019年度は、3名の方が免許を取得されました。皆さん、自動車学校への挑戦、自信を持って頑張ってください。引き続き南部ライフサポートセンターは、皆さんの努力が報われますよう、色々なサポートを続けてまいります。



労働福社会館

第6回パネル展



1月23日(木)から1月30日(木)までの間、『吉野川第十堰の可動堰化計画と住民投票』と題した第6回のパネル展をヒューマンワーくびあ徳島5F大ホールにて開催しました。

吉野川第十堰の今昔、可動堰化計画に対する住民運動の起こり(1993年)から、住民投票条例制定要求署名運動(1998年)可動堰化の是非を問う住民投票(2000年)、そして緑のダム構想(2001年)までを当時の資料から振り返る説明用のパネルの他、新聞スクラップや写真アルバム、当時のポスター、新聞スクラップ、集会イベント用の法被や



Tシャツなど約70点が並べられました。今回のパネル展では、労働福社会館の

会員団体をはじめ、関係団体など、一般来館者を含めて約85名の方が訪れました。

今回のパネル展の展示資料は「1億2千万のヒーローフェスタ実行委員会」より提供して頂いたものです。「1億2千万のヒーローフェスタ」は、2000年1月23日の吉野川第十堰の可動堰化の是非を問う住民投票から20年、そして2019年2月24日の辺野古米軍基地建設のための埋め立ての賛否を問う県民投票から1年、この二つの住民投票を繋ぐ民主主義の祭典であり、同委員会は2月1日(土)～2日(日)にかけて万代中央ふ頭にて、講演・音楽・上映会・フード・アートなどのイベントを開催し、そちらも多くの来場者で賑わいました。

壮生

いきいき百歳体操

新年を迎えた1月9日より、シニアを元気づけるために「壮生のいきいき百歳体操」を開始しました。AM10:30からの開催ですが、10時過ぎから皆さん寄られますので、まずは本格体操前の準備体操として、「カラオケ」でのどを湿らせます。皆さんこれが目的で来られている方もおいでます。5曲ほど歌ったのちにいよいよ体操に入ります。

毎週木曜日に開催しますが、最初はおもりを付けなかった方も、慣れるとおもりを付けて実施される方も何名かおいでます。たかが体操と思いきや結構きつかったです。終わった

ら汗をかいていました。二段階目として、認知症予防の体操を実施、



パターンは4つほどありますが、まずは両手両足を使った頭の体操を実施しました。皆さんワイワイ言いながら、「できない～」の連発。来週への予行演習も実施。2月下旬まで毎週実施し、「しっかり歩けなかったのにずいぶん歩くのが楽になりました。ありがとうございます」のお言葉頂きました。

「老いてますます壮ん」を合言葉に今後もやろうと意気込んでいましたが、あいにくの「コロナウイルス問題」で3月より中断。何とか新年度には再開したいと思います





けっこう使える
だからおすすめ!

ろうきんは
はたらく人に
寄り添う、協同組織の
福祉金融機関。
だから、私の
メインBANK。

〈四国ろうきん〉の詳しい情報は各営業店にお電話で。

徳島支店	徳島市昭和町3丁目35-1 徳島県労働福祉会館1F	9:00~17:00 (月~金)/10:00~17:00 (日曜日のみ)	☎ (088) 623-1111
池田支店	三好市池田町サラダ1612-2	9:00~15:00 (月~金)	☎ (0883) 72-0399
徳島北支店	板野郡北島町中村字東開10-5	9:00~17:00 (月~金)	☎ (088) 698-1111
阿南支店	阿南市富岡町トノ町71-20	9:00~15:00 (月~金、水曜日のみ19:00まで)	☎ (0884) 22-2132
鴨島支店	吉野川市鴨島町鴨島342-1	9:00~15:00 (月~金、水曜日のみ19:00まで)	☎ (0883) 24-3113

徳島ローンセンター 徳島市中島田町1丁目11-1 ☎(088)634-1000
営業時間(相談時間)/平日 10:00~18:00 土・日曜日 10:00~17:00
休業日/毎週水曜日、祝日(土・日曜日が祝日の場合は、営業いたします。)/12/31~1/3

徳島北ローンセンター 板野郡北島町中村字東開 10-5 ☎(088)698-1112
営業時間(相談時間)/平日 9:00~17:00 日曜日 10:00~17:00
休業日/毎週土曜日、祝日(日曜日が祝日の場合は、営業いたします。)/12/31~1/3

●〈四国ろうきん〉の詳しい情報はこちら
ホームページ <http://www.shikoku-rokin.or.jp>
または

ローン事前審査のお申込みや、ご返済の試算ができます。



2019年6月、
全労済から「こくみん共済 coop」へ

こくみん共済 NEWS
coop

こくみん共済	団体生命共済	住まいる共済
総合医療共済	せいめい共済	交通災害共済
マイカー共済	自賠償共済	新セット移行共済



こくみん共済 coop
公式キャラクター ピットくん

たすけあいの輪をむすぶ
こくみん共済〈全労済〉
全国労働者共済生活協同組合連合会 coop

「こくみん共済 coop」は営利を目的としない保障の生協として共済事業を営み、相互扶助の精神にもとづき、組合員の皆さまの安心とゆとりある暮らしに貢献することを目的としています。この趣旨に賛同いただき、出資金を払い込んで居住地または勤務地の共済生協の組合員となることで各種共済制度をご利用いただけます。

発行 公益社団法人

徳島県労働者福祉協議会

徳島市昭和町3丁目35-1 (わーくびあ徳島内)
TEL (088) 625-8387・FAX (088) 625-5113
URL <http://www.tokushima-rofuku.net/>
e-mail tokushima@rofuku.net

編集・発行人 川越敏良
印刷者 (有)フォトプリント白石